

取扱い方法
FD-2LCN-B2
屋外用2分配器

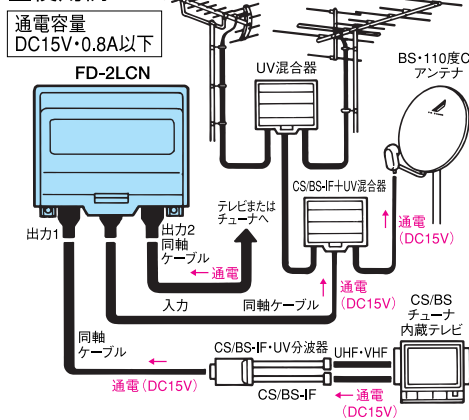
使用帯域 (10～2150MHz)

※このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保存してください。

■製品の特長

- FM、CATV、VHF、UHF、BS・110度CSデジタル放送、地上デジタル放送に対応しています。
- 全出力端子から入力端子方向通電仕様で、CS/BSコンバータやブースタに出力側から電源を供給することができます。
- 耐候性に富んだ樹脂ケースを採用していますので屋外でも安心して使用できます。

■使用例



■付属品

- 防水キャップ……………3個
- F-5接栓 (リング付) ……3個
- 木ネジ……………2本

■規格特性

使用帯域	使用周波数 MHz (ch.)	分配損失 (dB以下)	端子間結合損失 (dB以上)	入出力VSWR (以下)
HF	10～76	5.0	10	2.0
FM・VHF	76～222 (FM・1～12)	4.0	20	1.8
CATV・UHF	222～770 (C23～C63・13～62)	4.3	18	1.8
BS-1F	1032～1336 (BS1～15)	4.8	15	2.0
CS-1F	1336～2150	6.5	15	2.0

入出力インピーダンス 75Ω・質量0.21kg
※規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

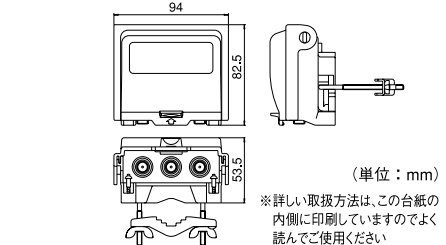
DXアンテナ株式会社

本 社／〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL (078) 682-0001 (代)
東京支社／〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL (03) 3526-6327 (代)
カスタマーセンター TEL (078) 682-0455

■使用上のご注意

- 同軸ケーブルは、本体に力がかからないように、少し余裕がある程度でご使用ください。
- この分配器はすべての出力端子から入力端子方向へ通電できますが、入力端子側から出力端子への通電はできません。また、他の機器の故障の原因にもなりますので、同軸ケーブルの心線と編組をショートさせないでください。
- すべての出力端子に電源を供給しても、お互いの機器への影響はありません。また入力端子へは電圧の高い方が供給されます。
- 分配器の空き端子には必ずダミー抵抗DFD-75S (別売) を接続してください。
- 分配器を使うと、テレビ画面がざらつくことがあります。このような時は、テレビ電波が弱いのでブースタが必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げ販売店等へご相談ください。

■外形寸法図



ケース:PET
袋:PE
紙
台紙
②

混入防止22番

DX ANTENNA

ノイズ
ブロック構造で
クリアな画像

ECO
JESITA
DH

屋外用 地デジ対応 [使用できる放送]

CS BS UHF FM VHF ケーブルテレビ

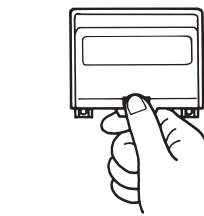
FD-2LCN-B2

全出力 → 入力端子間通電形

屋外用2分配器

TVの電波を2つに分けます。

■カバーの開け方と閉め方



●開け方

図のように人差し指をカバーの下側に添え親指で突起を押すとロックがはずれます。ロックをはずした後は、カバーを持ち上げると開けることができます。

●閉め方

カバーを閉めるときはフタを両手でしっかりと押え、ロックがかかったことを確かめてください。

※“FD-2LCN-B2”の末尾“-B2”は包装形態を示しています。製品本体の表示は“FD-2LCN”です。

DXアンテナ株式会社

品名 FD-2LCN-B2 ②

型番

上記データの作成にあたり、

- ・未管理(古い)データの流用
☐しました ☐していません
- ・内部での文字校正
☐しました ☐していません

担当者

福山

取扱い方法

FD-2LCN-B2

■安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	○記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- この製品の内部に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品に接続している電気製品などの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品を調理台の付近など高温になる場所で使用しないでください。
燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。



- 同軸ケーブルが傷んだとき（心線の露出、断線など）は、お買上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力（トルク）に指示がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。
感電の原因となります。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。
溶けたり、変質することがあります。
お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



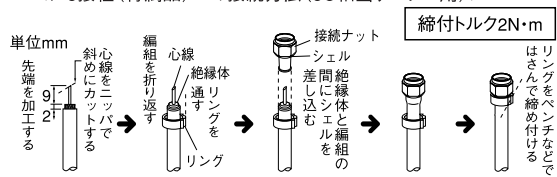
■お取り扱いの前に

- 結線や取付作業はこの取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行なってください。
- 入力端子と出力端子を間違えないように、接続してください。

■同軸ケーブルの接続方法

＜F-5接栓（付属品）への接続方法（5C相当ケーブル用）＞

- 防水キャップ（付属品）はケーブルの太さに合わせてカットし、先端を加工する前に通しておいてください。
 - 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は絶対に接触しないようにご注意ください。同軸ケーブルは5C相当の低損失のものをご使用ください。
 - 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線が曲がっていないかどうかよく確かめ、また心線を曲げないように接続してください。接栓は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。（2N・mを越えるトルクでは、締め付けしないでください。）
 - 設置後、同軸ケーブルが抜けたりしないようリングをしっかりと締め付けてください。
- ※各端子にケーブルを接続するためのF形接栓は、使用する接栓により同軸ケーブルの接続方法が異なりますので、接栓の取扱説明書をご参照ください。

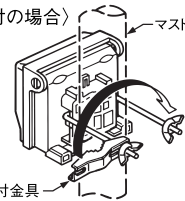


■取付方法

- マストへは取付金具で、柱や板壁は、付属の木ネジで取り付けてください。

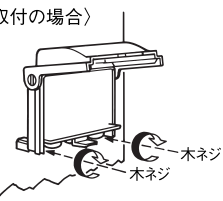
締付トルク
1.0～1.5N・m

〈マスト取付の場合〉



- 図のように取り付けてください。
- マスト径はφ25mm～φ43mmです。

〈板壁取付の場合〉



- 付属の木ネジ2本で取り付けてください。

 DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、（社）電子情報技術産業協会（CIPA）で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。